

経営戦略素案に対するご意見・ご質問への対応

資料 1

番号	該当箇所		ご意見・ご質問内容	対応
	章	ページ		
1	3	15	<p>(1) 達成目標と実績見込み</p> <p>【企業局の電力量で賄える県内世帯の割合】について</p> <p>供給電力量（kWh）を記載してはいかがでしょうか。 （賄える量の根拠が分かりづらいため）</p>	<p>達成目標の数値については平成27年の策定時、令和2年の改定時に定めている数値であるため、世帯数での表記とさせていただきますが、kWhで試算すると令和7年度末時点で442,000kWhとなります。参考に、表外へ記載しました。</p>
2	3	16	<p>(2) 上記以外の主な取組</p> <p>「企業局電力の供給により、県庁舎使用電力の再エネ100%化を実現」について</p> <p>県庁舎には太陽光発電装置設置による再エネ利用もあり、誤解が生じる恐れがあるため、表現の工夫が必要ではないでしょうか。</p>	<p>「企業局電力の活用等により、県庁舎使用電力の再エネ100%化を実現」と表記を修正します。</p> <p>なお、太陽光発電は県庁舎電力の4%程度であり、大部分は企業局電力となっています。</p>
3	3	18	<p>(3) 決算の状況</p> <p>売電収入、費用、純損益の推移のグラフについて</p> <p>資産減耗費は固定資産の除却、たな卸資産の減耗のどちらでしょうか。</p>	<p>固定資産の除却にかかる費用を記載しています。</p>
4	3	19	<p>(1) 達成目標と実績見込み</p> <p>【老朽管残存率】について</p> <p>AI技術を活用した調査を実施しているとのことですが、欄の見方がよく分かりません。老朽配管の更新が後手になっているということはないでしょうか。</p>	<p>本項目のみ、数値が大きいほど状況が悪いことを示しており、分かりづらい表現となっていたことから、</p> <p>「更新基準年数を超過した管の割合が増加しないよう、長寿命化工事を推進」と修正しました。</p> <p>なお、多数の老朽管の更新時期が同時期に到来していることから、AI技術も活用し、優先順位をつけて更新を行います。</p>

番号	該当箇所		ご意見・ご質問内容	対応
	章	ページ		
5	4	25	<p>(1) 水力発電の開発の推進</p> <p>ア「発電電力量の増大・・・開発等を推進」の目標数値について</p> <p>ぜひ野心的な目標値を掲げてください。</p> <p>(太陽光発電のみでは長野県のゼロカーボン達成には届かないため。)</p>	<p>本戦略の投資・財政計画や長野県ゼロカーボン戦略の目標数値などを総合的に勘案し、目標を設定します。</p>
6	4	25	<p>ア「発電電力量の増大・・・開発等を推進」</p> <p>「○産学官の連携による・・・県内製水車発電機等の開発・・・」について</p> <p>この水車はどのようなものでどのような場所に設置する予定ですか。</p>	<p>2025年7月に運転を再開した豊丘ダム発電所へ採用した「新型フランス水車」のように、従来よりも発電効率が向上し、かつ、導入コストを低減できる水車を、企業や大学などと共同で研究開発する取組を想定しています。</p> <p>設置場所については、採算性や導入スケジュールを勘案しつつ、新規建設地点への設置を想定しています。</p>
7	4	26	<p>イ 他の事業主体への支援による水力発電開発の促進</p> <p>◆企業局が有する様々な資源を活かした支援</p> <p>「○水力発電の開発に必要な基礎データ・・・」について</p> <p>この基礎データは誰にどのように公表するのですか。</p>	<p>同項目4つ目の○に記載の「県内で発電事業を行う者との地域と調和した小水力発電開発のあり方の共有や連携体制の検討」の場において、民間企業や市町村など、開発を行う意思のある主体に対して提供することを予定しています。</p>
8	4	29	<p>(5) リスクマネジメント の対応表について</p> <p>リスクマネジメントの一部としてBCP策定を入れなくてよいでしょうか。</p> <p>(水道事業についても同様)</p>	<p>リスクマネジメントの項目全体を説明する部分に、<b>BCPに関する記載を追加しました。</b></p>

番号	該当箇所		ご意見・ご質問内容	対応
	章	ページ		
9	4	29	<p>(5) リスクマネジメント</p> <p>◆想定する各リスクへの対応表 について</p> <p>環境汚染「油・農薬の流入による汚染拡大」とはどのような事態を想定していますか。また、農薬に限定しているのはなぜでしょうか。</p>	<p>発電所取水口へ油・農薬などが流入し、取水・発電により下流へ放流したことにより汚染が拡大するような事態を想定しています。</p> <p>発電所下流域への水質に影響を及ぼすことが想定される油などに関する汚染拡大の未然防止として記載をしていましたが、限定する意図はないため、「油・農薬等」と修正します。</p>
10	5	35	<p>(1) 管路・施設の老朽化対策</p> <p>◆管路・施設の計画的更新</p> <p>「○管路等・・・については法定耐用年数の1.5倍を基本として更新」について</p> <p>全国で水道管の老朽化に起因する事故が増えている中、なぜ1.5倍とするのか分かりにくいかと思われますので、簡単な説明を入れてはいかがでしょうか。</p>	<p>法定耐用年数の経過後、直ちに更新が必要というわけではないため、</p> <p>「管路（塩化ビニル管を除く）や施設・設備については、「水道事業におけるアセットマネジメント（資産管理）に関する手引き」（厚生労働省 平成21年7月）を基に、これまでの類似資産の使用実態や事故、故障が発生した時期等を考慮して、法定耐用年数の1.5倍を基本として更新」と修正しました。</p>
11	5	36	<p>(3) ダウンサイジング について</p> <p>○人口減少やスプロール化等に対応するために、都市計画等とも連動しながら、施設の適正な規模や配置を検討する。</p> <p>という旨を記載してはどうか。</p> <p>（スプロール化による新規水道管設置等の負担を減らしていくため）</p>	<p>ご意見を踏まえ、スプロール化への対応を追記します。</p> <p>ただし、市町村が策定する都市計画に「連動」することは難しいことから、「人口減少による「需要減少」、スプロール化による「非効率拡大」等に対応するため、都市計画（人口動態、土地利用等）の動向も踏まえながら、施設の適正な・・・」と修正しました。</p>
12	5	46	<p>(1) きめ細かな水質管理</p> <p>「安全で安心な水道水を安定的に供給するため、質の高い水質検査を実施します。」について</p> <p>安全で安心なおいしい水道水を供給してほしいです。（上田の県水は評判がよくないので）</p>	<p>「おいしい」は水を飲まれる方による主観的な評価になりますが、安全で安心な水道水を安定して供給できる体制整備に努めてまいります。</p>

番号	該当箇所		ご意見・ご質問内容	対応
	章	ページ		
13	5	48	<p>イ 上田長野地域における取組</p> <p>(1) 検討経過 について</p> <p>平成26～令和3年までの間は話し合いなどなかったのでしょうか。</p>	<p>平成26年に発足した「水道事業運営研究会」において研究を行っていました。</p>
14	6	52	<p>(3)新規事業に関する研究・検討</p> <p>「・再生可能エネルギーの拡大に・・・デマンドレスポンスの研究」 について</p> <p>今後、蓄電システムはさらに必要とされ、10年以内に技術革新も進んでいくのではないかと思います。再生可能エネルギーの貯蔵システムしか現在のところは研究されていないのでしょうか。</p>	<p>現在、企業局では水素による蓄電技術を含めた実証事業に取り組んでいますが、再生可能エネルギーの普及拡大には電力の過不足を調整する技術として、エネルギーの貯蔵システムや、エネルギーの需要と供給量を一元的に調整する「デマンドレスポンス」などが必要とされていますので、再生可能エネルギーの普及を目指し、引き続き新たな事業の可能性について検討します。</p>
15	6	54	<p>(4) 専門人材の確保・育成</p> <p>◆専門人材の育成 について</p> <p>資格の取得・専門研修への参加などは大変重要と思いますが、中長期的な視点を有する者を育成するために一般事業会社への出向などは、県では認められないことなのでしょうか。</p>	<p>現在は経済産業省に毎年度職員を研修派遣しています。</p> <p>制度的には民間企業への派遣も可能ですので、職員体制の状況や受入企業の状況を踏まえて検討します。</p>
16	6	54	<p>(6)事業に関する情報発信 について</p> <p>企業局事業をもっと県民に広く知ってもらえるよう、出前講座を開催してはいかがでしょうか。</p>	<p>県企画振興部広報・共創推進課でとりまとめている「県政出前講座」において、企業局としても「水力発電のしくみ」など、<b>4つの講座を登録・実施していますので、その旨を追記しました。</b></p>